

持続的な水産業の実現及び 漁港・漁村の整備について

令和7年5月

農林水産部水産漁港課

目次

<u>I 水産業の概況</u>	4	<u>IV 漁港の整備・保全</u>	
<u>II 豊かな海と持続的な水産業の実現</u>		1 漁港・海岸の概況	2 2
1 水産資源の適正管理	6	2 漁業生産活動の効率化、省力化を 図るための施設整備	2 3
2 瀬戸内海	8	3 漁港施設の保全対策の推進	2 3
3 日本海	1 3	4 防災・減災対策の推進	2 4
4 経営の安定化	1 6	<u>V 漁場の整備</u>	2 6
<u>III 活力ある水産業と地域づくりの推進等</u>		<u>VI 海業の推進</u>	2 8
1 経営感覚に優れた後継者等の 確保・育成	1 8		
2 水産物の需要喚起に向けた 魚食普及と消費拡大の推進	1 9		
3 スマート水産業の推進	2 0		
4 安全安心な流通の確保	2 0		
5 内水面における水産資源の維持と 地域活性化の推進	2 1		

ひょうご農林水産ビジョン2030施策体系表における位置づけ

【めざす姿】

御食国ひょうご 令和の挑戦
 ↳都市近郊の立地を活かした農林水産業の
 基幹産業化と五国の持続的発展↳

【基本方向】

【基本方向1】
 基幹産業として持続的に
 発展する農林水産業の
 展開

【基本方向2】
 県民が安心して暮らせる
 活力ある地域の創出

【基本方向3】
 「農」の恵みによる健康
 で豊かな暮らしの充実

【推進項目】

- 1 スマート化による新しい農林水産業の実現
- 2 多様性と都市近郊の立地を活かした力強い農業の展開
- 3 需要に応じた高品質な畜産物の生産力の強化
- 4 木材利用の拡大と資源循環型林業の推進
- 5 豊かな海と持続的な水産業の実現
- 6 農林水産物のブランド力強化と生産者所得の向上
- 7 食の安全を支える生産体制の確保
- 8 特色を活かした活力ある地域づくりの推進
- 9 農山漁村の防災・減災対策の推進
- 10 豊かな森づくりの推進
- 11 食と「農」に親しむ楽農生活の推進
- 12 「農」と多様な分野との連携強化
- 13 県民への農林水産物の安定供給と県産県消の推進

: 資料に掲載している施策項目

I 水産業の概況

1 兵庫県の漁業生産量及び産出額

- ・瀬戸内海と日本海に面する本県では、異なる海域の特性に応じた多様な漁業が営まれ、**令和5年の産出額は609億円で全国7位、生産量は10.1万トンで同12位。**
- ・**シラスやマダイ、ノリ（養殖）、ズワイガニ、ホタルイカなど、高い全国シェアを誇る魚種も多く、それらを利用した水産加工業も盛ん**なほか、観光資源としても広く利用され地域の活性化に貢献。

全国シェアの高い魚種

区分		生産量	全国シェア	全国順位
瀬戸内海	イカナゴ	1,224 t	55.7%	1
	シラス	15,851 t	31.5%	1
	マダイ	1,784 t	12.1%	2
	タコ類	685 t	3.0%	6
	スズキ類	461 t	9.4%	2※1
	エビ類	275 t	2.3%	2※1
	ノリ(養殖)	49,836 t	24.8%	1
	カキ類(養殖)	8,407 t	5.6%	4
日本海	ズワイガニ	524 t	21.9%	2
	ホタルイカ	2,666 t	74.1%	1
	ハタハタ	90 t	15.9%	4
	ベニズワイガニ	1,786 t	13.4%	4
	エビ類	1,088 t	9.1%	2※1
	カレイ類	1,012 t	3.2%	3※1

本県の海面漁業生産状況

区分	本県	全国シェア	全国順位
漁業生産量	100,829 t	2.7%	12
海面漁業	38,942 t	1.3%	18
海面養殖	61,887 t	7.3%	5
漁業産出額	609億円	4.0%	7
海面漁業	309億円	3.3%	8
海面養殖	300億円	5.2%	7

本県の水産加工品生産状況※2

区分	本県	全国シェア	全国順位
かまぼこ類	42,295 t	10.2%	1
ハタハタ(塩干品)	511 t	48.4%	1
カレイ(塩干品)	810 t	18.4%	2
シラス干し	4,749 t	19.0%	1

※1 県全体での順位を記載（瀬戸内海と日本海の合計で算出）

※2 令和4年データ

I 水産業の概況

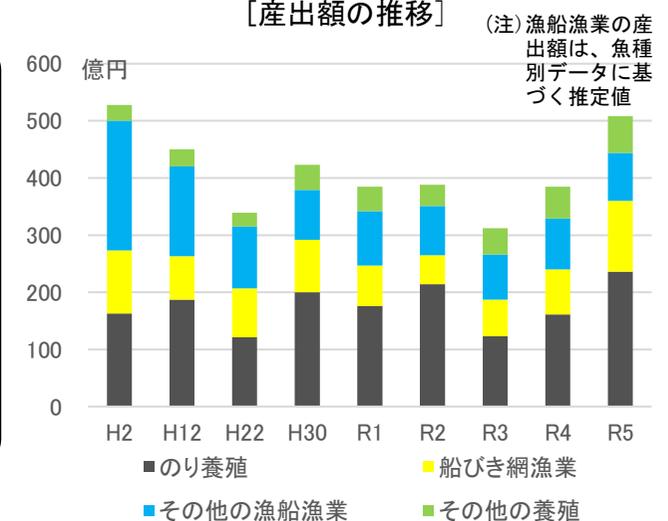
(1) 瀬戸内海の漁業産出額

- ・内湾性に富んだ静穏な海域を活かした養殖業が盛んであり、漁船漁業は多種多様な漁業が営まれ、小型漁船による一本釣りや刺し網、小型底びき網、船びき網、まき網などがある。
- ・**産出額は508億円**で、県内の**83%**を占めるが、栄養塩類の減少などによる海域の生産力低下が顕在化する中、**ノリ養殖が236億円（46%）**、シラスなどを漁獲する**船びき網が124億円（24%）**を占め、漁業種類の単純化が進行。

瀬戸内海における漁業の概要

- 漁協数：35組合
 - 組合員数：3,997人
 - 漁港数：38漁港
 - 漁船数：5,139隻
 - 漁業生産量：9.2万トン
 - 漁業産出金額：508億円
- (令和5年農林水産省統計、兵庫県調べ)

[産出額の推移]



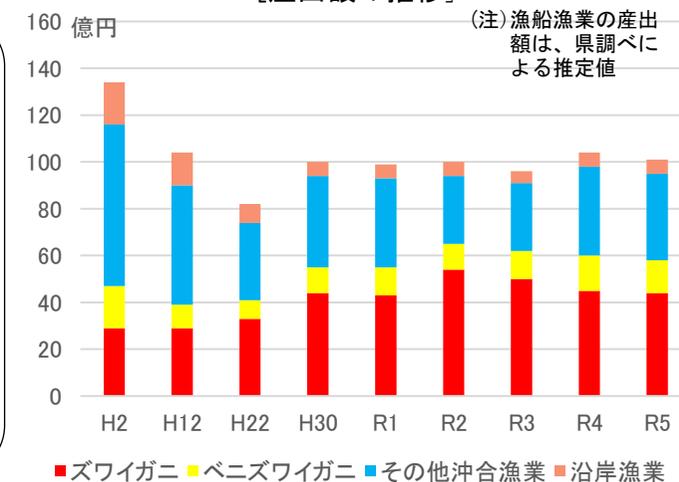
(2) 日本海の漁業算出額

- ・冬季の風浪が厳しく浅海域が少ないため、古くから沿岸漁業よりも天然の良港を活用した沖合漁業が発達。
- ・**産出額101億円**のうち、底びき網やカニカゴ等の**沖合漁業が95億円（94%）**を占める。
- ・魚種別では**ズワイガニが44億円（44%）**、さらに**ベニズワイガニの14億円**を加えると**57%**に達し、**カニ類への依存**が高まっている。

日本海における漁業の概要

- 漁協数：2組合
 - 組合員数：1,622人
 - 漁港数：15漁港
 - 漁船数：763隻
 - 漁業生産量：0.9万トン
 - 漁業産出金額：101億円
- (令和5年農林水産省統計、兵庫県調べ)

[産出額の推移]



II 豊かな海と持続的な水産業の実現

1 水産資源の適正管理

(1) 公的管理

- ・今後、**TAC対象種が順次追加される予定**で、これまでに追加候補として公表された15種には、本県の重要種も多く含まれている。このため、漁業者等が改革内容を把握し適切な対策をとれるよう、十分な説明を行い、意見を集約。
- ・また、**漁業権漁場の利用や管理の実態を踏まえ、漁場の適正かつ有効な活用を推進**(令和5年9月一斉切替)。

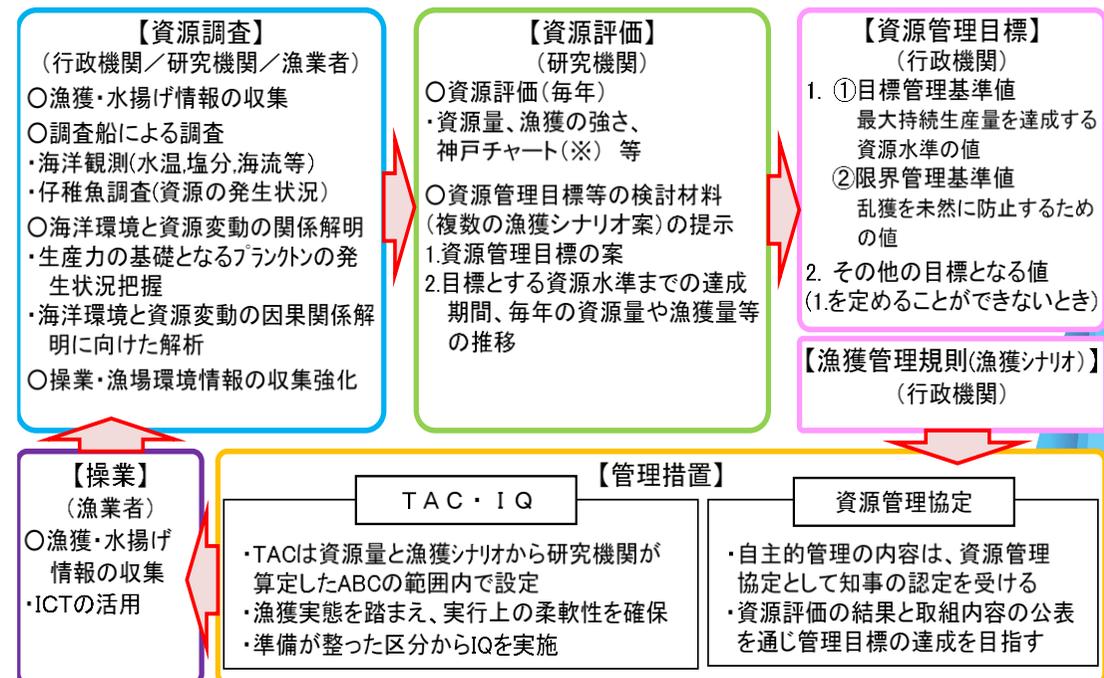
TAC管理追加(予定)魚種(令和7年1月現在)

現行8種	サンマ、スケトウダラ、マアジ、マサバ及びゴマサバ、マイワシ、スルメイカ、ズワイガニ、クロマグロ
ステップアップ管理5種※	カタクチイワシ、ブリ、ウルメイワシ、マダラ、マダイ
追加される予定の候補魚種10種	カレイ類、ホッケ、サワラ、ヒラメ、トラフグ、キンメダイ、ムロアジ類、イカナゴ、ベニズワイガニ、ニギス

漁業権免許件数(令和7年4月現在)

区分	共同漁業権	区画漁業権
海面	202件	158件
内水面	16件	4件

新たな資源管理の流れ



※神戸チャート:資源水準と漁獲圧力について、最大持続生産量を達成する水準と比較した形で過去から現在までの推移を表示したものの

※ステップアップ管理対象種

通常のTAC管理に移行させるため、導入当初は柔軟な運用を図りながら段階的に取組を進める魚種

II 豊かな海と持続的な水産業の実現

(2) 漁業者の自主的な資源管理の取組

- 資源の持続的かつ有効な利用には、公的管理に併せ漁業者の自主的な取組が欠かせないため、県では**関係漁業団体と資源管理協議会を組織**。漁業者が自らの取組を**資源管理協定**にまとめ、知事の認定のもと資源管理を実施。
- 当該協定の着実な実行に向けて、水産技術センターによる漁海況情報の提供や取組効果の科学的評価などの支援とともに、漁業取締船による海上巡視などによる指導を実施。

資源管理協定の作成状況 (令和6年12月末)

区分	瀬戸内海	日本海	大臣管理	計
協定数	29	3	2	34

【漁業者の取組の代表事例】

ズワイガニ（日本海 大臣管理）

TACによる公的管理に加え、石川県から鳥根県の漁業者が組織する「ずわいがに特別委員会」で、漁期の短縮や採捕尾数の制限などを協定している。さらに、本県と鳥取県の漁業者は同協定とは別の「因但底曳協議会」を設け、保護区の設定など、さらに進んだ資源管理に取り組んでいる。

(3) 遊漁者等の理解の醸成と資源の利用調整

- 遊漁者に資源管理に対する理解を求め、公的規制の遵守や漁業者との間の資源や海面の利用調整を図るため、遊漁関係者との意見交換会や多くの遊漁者が集まる**「フィッシングショー大阪」などのイベントで啓発活動**を実施。

【遊漁者と漁業者が参加したルールづくり】

- 明石市沿岸では、遊漁者と漁業者の双方が参加して協議を続け、平成28年にマダコ資源の適切な利用調整を目指し「明石市沿岸タコ釣り等のルール」が設けられた。
- 海上保安庁と協力して、このルールに基づき遊漁者に指導を行うとともに、漁業者の資源増殖の取組の紹介や公的規制の内容の周知を図っている。



漁業取締船「はやたか」による遊漁者指導

II 豊かな海と持続的な水産業の実現

2 瀬戸内海～豊かな海の再生と漁業の成長産業化～

(1) 豊かな海の再生

ア 漁業者による豊かな海を再生する取組の支援

- ・ **海底耕うん**や**アサリ等の放流**、二枚貝の外敵となる**有害生物の駆除**など、藻場や浅場の機能を維持・回復する取組のほか、農業者や消費者協働して行う**ため池のかいぼり**、**森づくり**や**海浜清掃**を支援。
- ・ 更に、有機肥料を用いた**海底への施肥**など漁業者による取組を推進。

支援した活動の実績（令和6年度）

支援事業名	活動内容	活動規模	
		組織数	構成員数
豊かな海創生支援事業	○海底耕うん ○有害生物駆除 ○海岸・海域清掃 ○藻場保全 ○二枚貝の放流 ○かいぼり ○水域監視 ○海底への施肥など	37	2,873人
離島漁業再生交付金	○種苗放流、投石礁の設置 ○産卵礁の設置、海底ゴミ回収	(対象離島) 家島、坊勢島、沼島	
漁場への栄養添加促進事業	○有機肥料を用いた栄養供給手法の検討	神戸市漁協	



ため池の「かいぼり」の実施
(農漁業者のほか、大学生等も参加)



漁業者と消費者（コープこうべ組合員等）による
森づくり（左）と海浜清掃（右）

【海底への施肥による効果】

瀬戸内海では、貧栄養化した海域の生産力を回復させる積極的な栄養供給を進めることが喫緊の課題となっている。このため、令和2年度から取り組む有機肥料を用いた海底への施肥では、魚介類の餌となるゴカイ等の底生生物の増加がみられるなど、生物生息環境の回復効果が確認された。



底生生物増加の例（ゴカイ等糞塊の増加）（淡路市）
(左：施肥なし) (右：施肥あり)

II 豊かな海と持続的な水産業の実現

イ 種苗放流

- 兵庫県第8次栽培漁業基本計画（令和5～9年度）に基づき、水産資源の維持・増大に向け効果的な栽培漁業を推進するため**多様な魚種の種苗を生産・放流**。
- 淡路栽培漁業センターでは、海底の有機物を分解し**栄養塩類の放出が期待されるマナマコ、クマエビを「豊かな海再生種苗」と位置づけ**、令和4年度から本格的な生産・放流を実施。
- 本県を代表するマダコの漁獲量が激減していることを踏まえ、**令和5年度からマダコの種苗生産技術開発に着手**。



マナマコ種苗(約5-30mm)



クマエビ種苗(約30mm)

令和6年度種苗生産・放流実績(千尾・千個) (瀬戸内海)

[主要魚種を記載]

魚種	生産実績	放流実績	放流サイズ等
マダイ	271	227	50mm
ヒラメ	922	515	50mm (神戸市分含む)
マコガレイ	462	373	20-35mm (R5生産分)
アサリ※	9,330	180	5mm以上
ガザミ	4,720	3,985	C1 (約4.5mm)
アカウニ	130	130	10mm
マナマコ	237	207	10mm
クマエビ	3,996	2,392	30mm

※アサリの放流実績は養殖用種苗を除いた数値を記載

【マダコ種苗生産技術開発等】

令和5年度から(公財)ひょうご豊かな海づくり協会に委託し、量産化試験に取り組む中、令和6年8月には約2,500匹の試験放流を実施。

令和7年度からは、調査船による浮遊稚ダコの分布状況や、カキ殻を詰めたカゴ設置等着底稚ダコが好む生息環境などの調査を進めるとともに、貝殻等の基質に付着させての放流など、効率的かつ効果的な放流手法の開発を推進。



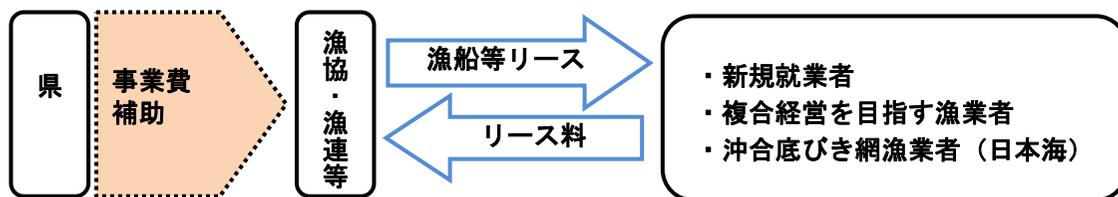
放流前の稚ダコ

II 豊かな海と持続的な水産業の実現

(2) 漁業の成長産業化

ア 漁船漁業経営の高度化

- ・新規就業者や複合経営を目指す漁業者の**漁船取得等を支援**し、円滑な着業や経営の高度化を推進。
- ・労働環境の改善にむけた**機器導入を支援**し、人材不足の解消と漁業就業者の確保・定着を促進。



【漁業施設貸与事業等の実績(令和6年度)】

漁業種類	潜水	一本釣り	合計
隻数	1(新規就業)	1(複合経営)	2

【新】漁業労働環境改善支援事業の創設

労働環境改善施設導入のイメージ



複数人で行っていた選別作業を漁獲物選別機の導入により効率化

イ 共同利用施設等の整備

- ・漁業者の所得向上に資する**共同利用施設の整備に対し国事業に上乘せ補助**し支援。
- ・令和6年度は、東二見漁業協同組合が養殖ノリの種網冷凍設備ほか3箇所の施設整備を支援。
- ・あわせて、**県下8箇所に設置している漁場環境観測システムに水温予測機能を追加するなど機能を強化、更新。**

漁場環境観測システム



機能強化した自動観測システム概要

II 豊かな海と持続的な水産業の実現

ウ 収益性の高い養殖業の確立

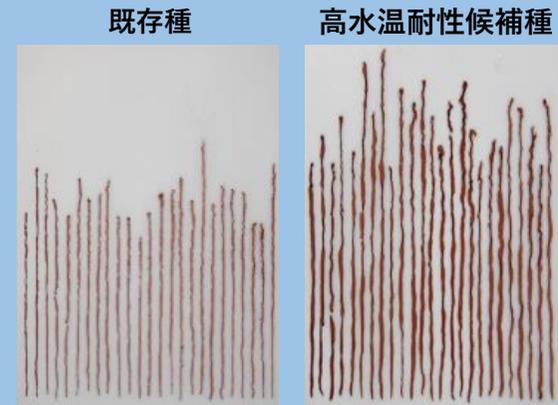
(ア) 藻類養殖（ノリ、ワカメ）

- ・ 栄養塩類不足や水温低下の遅れなど、漁場環境の変化に大きく影響を受けるため、更新した漁業環境観測システムを活用し、**水温や栄養塩類濃度などの観測データを迅速に漁業者に提供**。
- ・ **ノリ養殖**では、**大型ノリ自動乾燥機や高性能刈取船の導入を支援**し、経営規模の拡大や効率化を進め収益性の向上と競争力の強化を図る。さらに、**高水温に強い品種の開発や食害対策を推進**。
- ・ **ワカメ養殖**では、水産技術センターが開発し漁業者に技術移転した**自家採苗技術の活用を指導**し、種苗の確保や安定生産に向け支援。

【高水温に強い養殖ノリの作出】

水産技術センターでは、室内培養を中心としたこれまでの研究により、高水温でも生長の良い16の高水温耐性候補種を選抜。

現在、野外試験等により、ノリ養殖漁場での実用性を備えた高水温耐性品種の早期作出を目指している。



高水温下（水温24℃）での培養実験（左）
既存種と高温耐性候補品種の成長比較（右）

II 豊かな海と持続的な水産業の実現

(イ) 貝類養殖（カキ、アサリなど）

- ・ **カキ養殖**では品質保持と生産の安定のため、養殖密度の適正化の指導や餌となる植物プランクトンの発生情報を提供するとともに、**シングルシード養殖などの導入を支援**。
- ・ **アサリ養殖**では、増え続ける種苗需要を満たすため、**県産種苗の配布**に加え、漁業者による種苗生産や、より小型の種苗から養殖を開始する技術などの開発と普及を推進。

(ウ) 魚類養殖（トラフグ、サーモンなど）

- ・ 魚類養殖は、給餌により栄養塩類不足に左右されず安定生産ができるため、「淡路島3年とらふぐ」や「坊勢さば」をはじめ、神戸市の養殖サーモンなど、各地で様々なブランドが生まれており、これらの育成・強化に向け各産地で支援。

【全国牡蠣-1グランプリで兵庫県のカキがグランプリ受賞】

全国のカキ養殖業者が主催する「牡蠣-1グランプリ」がR6年に開始。カキの品質向上と消費拡大を目的とし、全国の味自慢のカキが競い合う大会。

第1回（R6.2）では、「生食の部」で株播磨灘（姫路）がグランプリを受賞し、竹内水産（相生）らが準グランプリを獲得。「加熱の部」でも津田宇水産（たつの）が準グランプリを受賞。

第2回（R7.3）では、賞区分が8部門に拡大され、「生食の部」で室津漁協（たつの）らが金賞、「加熱の部」で竹内水産が銀賞、「バラエティの部」でも津田宇水産が受賞するなど、カキ産地として、「兵庫・播磨のカキ」が全国に注目されている。



第2回牡蠣-1グランプリに出展されたマガキ

II 豊かな海と持続的な水産業の実現

3 日本海～沖合漁業の経営維持と沿岸資源の増大～

(1) 沖合漁業の経営維持

ア 新船建造と高機能化・省力化の推進

- ・国事業や県事業を活用し、燃料費など操業コストの削減や漁獲物の付加価値向上、就労環境の改善に必要な装備などを取り入れた沖合底びき網漁船等、基幹となる**沖合漁業の新船建造等を推進**



令和6年に竣工した沖合底びき網漁船

沖合漁業の新船建造実績（国事業）

種類	在籍漁船数	H19～R6実績	R7計画
沖合底びき網	36	13	2
べにずわいがにかご	9	2	—

沖合漁業の機器整備実績（県事業）

種類	在籍漁船数	H28～R6実績 (延べ件数)	R7計画
但馬漁協	32	6	2
浜坂漁協	13	7	2

イ 船員の確保・育成

- ・沖合漁業の慢性的な船員不足を解消するため、平成23年度から**未経験の船員就業希望者を対象に漁協等が行う実地研修を支援**。研修修了者の約5割が現在も就業

船員就業希望者研修実績

区分	参加人数	就業者数
H23～R5	79人	37人
R6(見込)	7人	7人
累計(見込)	86人	44人



沖合底びき網漁船での研修

II 豊かな海と持続的な水産業の実現

(2) 沿岸資源の増大

ア 種苗放流

- 兵庫県第8次栽培漁業基本計画（令和5～令和9年度）に基づき、**一本釣りや潜水等の沿岸漁業が対象とする魚種の種苗を生産・放流。**

令和6年度種苗生産・放流実績(千尾・千個)（日本海）

[主要魚種を記載]

魚種	生産実績	放流実績	放流サイズ
マダイ	300	250	50mm
ヒラメ	200	160	50mm
カサゴ	11	11	40mm
キジハタ	4	4	50mm
アワビ類	29	29	20mm
サザエ	32	32	15mm



キジハタの幼魚

(3) 水産加工業の振興

- 昭和63年に香住漁港東港の水産加工団地内に整備された**排水処理施設**は、老朽化により臭いの発生などの課題が生じていたため、**香美町が令和7年5月の完成を目指し改築整備**を推進。県は国事業の上乗せ補助により支援。
- 整備後は、脱臭装置等の機能強化により、周辺環境の改善や運転経費の削減などが期待されている。



改築された排水処理施設（香美町）

II 豊かな海と持続的な水産業の実現

(4) 外国漁船等対策

ア 日韓漁業問題

- 平成11年の日韓漁業協定発効により設定された日韓漁業暫定水域は、本来、日韓両国が操業できる海域だが、実情は**韓国側に独占され、我が国の漁船が操業できない**状況。
- 加えて、暫定水域に隣接する我が国EEZ内には違法に残置された漁具によるゴーストフィッシングがズワイガニなどの資源に悪影響を与えている。このため、沖合漁業の漁業者は国基金を活用し、**毎年、違法漁具の撤去など海底清掃活動を実施**。

イ 大和堆周辺における集団違法操業

- 大和堆周辺では、スルメイカ等を目的とした多数の外国漁船が我が国排他的経済水域内に侵入し、資源を収奪するとともに、我が国の漁船の操業を妨害。

ウ 北朝鮮によるミサイル発射等

- 北朝鮮によるミサイル発射が頻発し、漁業者の不安が増大。
(令和6年1～12月で計14回)
- 国に解決を要望するとともに、県では、香住漁業無線局で、**24時間365日、本県漁船の現在位置の把握や操業安全に必要な情報の伝達、発射事案発生時の迅速な安否確認等を実施**。



外国漁船の違法漁具による
ゴーストフィッシング



但馬水産事務所内の無線局

II 豊かな海と持続的な水産業の実現

4 経営の安定化

(1) 漁業制度資金の融通

ア 漁業近代化資金【利子補給】

- ・ 漁業者や水産加工業者の資本装備の高度化と漁業経営の近代化に資する長期の設備資金を融通

イ 豊かな海づくり資金【利子補給】

- ・ 漁業者や水産加工業者の事業に必要な運転資金のほか、災害などに対応した低利資金を融通

ウ 沿岸漁業改善資金【直接貸付】

- ・ 沿岸漁業者の経営合理化や担い手の育成確保などを目的に、無利子の資金を貸し付け

漁業制度資金の利用実績

(令和7年3月31日現在)

区分		R2	R3	R4	R5	R6	主な事例
漁業近代化資金	件数	213	133	128	116	123	漁船、漁船用機関、魚探、ノリ全自動乾燥機等
	金額(百万円)	3,040	1,763	2,076	2,091	1,699	
豊かな海づくり資金	件数	197	73	48	39	42	水産加工用原料魚、ノリ養殖用種網、魚類養殖用餌料、カキ養殖用種苗、燃油の購入等
	うちコロナ対策	135	28	7	-	-	
	うち加工原材料等高騰対策	-	-	-	38	35	
	金額(百万円)	1,608	705	607	871	536	
	うちコロナ対策	923	112	45	-	-	
うち加工原材料等高騰対策	-	-	-	617	316		
沿岸漁業改善資金	件数	0	0	2	0	0	漁船機関、レーダー、GPS受信機等
	金額(百万円)	0	0	16	0	0	

※漁業近代化資金、豊かな海づくり資金の実績は利子補給承諾ベース

※沿岸漁業改善資金は、漁船機関等を対象にする国の補助事業が設けられたため、貸付が減少している。

II 豊かな海と持続的な水産業の実現

(2) 燃油高騰対策

ア 漁業用燃油の供給安定化

- ・ 漁業者に燃油を供給する県漁連の仕入れコストを軽減するため、**燃油の一括購入にかかる豊かな海づくり資金への利子補給**により、漁業用燃油の価格と供給の安定化を推進。

イ 漁業経営セーフティーネット構築事業の利用推進

- ・ 燃油・配合飼料価格が上昇したときの影響を緩和するため、価格が上昇した際に、漁業者・養殖業者と国の拠出により積み立てられた基金から補填金を交付するセーフティーネット構築事業の利用を推進。

セーフティーネット構築事業（燃油）の加入状況（R6）

件数	補てん実績（R6.4～R6.12）
1,608	447百万円

(3) 共済加入の推進

ア 漁業収入安定対策制度の推進

- ・ 資源管理に取り組む漁業者等を対象に、漁業者と国の拠出により積み立てられた基金から漁業共済に上乗せ補填する「**積立ぷらす**」と**共済掛金の追加補助からなる漁業収入安定対策制度を活用し、経営安定を推進。**
- ・ 県では制度要件である資源管理協定等の作成や取組の指導などを通じて制度の円滑な運用と加入を促進。

漁業収入安定対策の活用状況（R6）

収入安定対策加入件数	対策活用者の漁業生産額(A)	県内漁業生産額(B)	対策活用者の割合(A/B)
887	46,363百万円	52,500百万円	88%

イ 養殖漁業（魚類）の赤潮等による被害の補償

- ・ 通常の共済契約では支払対象とならない異常な赤潮等による損害を補てんする赤潮特約にかかる掛け金を、国と共に助成。（負担割合 国2/3 県1/3）

赤潮特約の加入状況（R6）

対象魚種	加入件数
タイ、フグ、サクラマス	13（加入率100%）

III 活力ある水産業と地域づくりの推進等

1 経営感覚に優れた後継者等の確保・育成

(1) 新規就業者の確保

- ・就漁希望者を対象に漁協等が行う漁業現場での実地研修を支援する国の**経営体育成総合支援事業の活用**を推進。

経営体育成総合支援事業の実績(令和6年度)

区分	R6事業開始者数	R6事業終了者数	R7事業継続者数	研修期間
雇用型	21人	11人	10人	最長2年
独立型	3人	2人	1人	最長4年

新規就業者の推移

項目	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
県計	59	64	48	43	50	41	58	54	53
瀬戸内海	49	53	42	34	41	35	51	48	48
日本海	10	11	6	9	9	6	7	6	5

(2) 本県水産業を先導する人材の育成

- ・将来の水産業を先導する人材育成のため（一財）兵庫県水産振興基金が設けた「**大輪田塾**」に協力し、講師の派遣や修了論文の作成を指導。
- ・**平成17年の開講以降、これまでに92名の塾生が課程を修了し、組合長や漁協等の役員を輩出するなど大きな成果**を挙げており、現在も11名の塾生が在籍。



大輪田塾第20期生の入塾式
(前列左2名及び右3名)

III 活力ある水産業と地域づくりの推進等

2 水産物の需要喚起に向けた魚食普及と消費拡大の推進

(1) 魚食普及の推進

- ・ **県漁連等が行う魚食普及活動を支援**
- ・ 一般向け料理教室や小中学校向けさばき方教室
- ・ 産地見学会や大学生と連携した学習会
- ・ 量販店でのレシピ配布や販売促進PR活動
- ・ レシピ動画や旬の魚情報などをSNSで配信



R6年度実施した料理教室の様子

(2) ブランド化の推進

- ・ **県水産物のブランド化を図るPR活動を推進**するとともに、未利用資源の開発など新たな特産物を創出。
- ・ **コープこうべ、兵庫県漁連、兵庫県が協力して地魚PRイベントを実施**し、消費拡大を推進

県漁連の料理教室開催実績（令和6年度）

回数	参加人数
320回	8,430人



にぎわう地魚PRイベント会場（明石浦漁協）

【未利用魚（ドスイカ）の利用促進】

スルメイカの漁獲量が激減する中、これまでホッコクアカエビを漁獲する沖合底びき網漁業で混獲されるものの、これまで利用されなかったドスイカに着目。

浜坂漁協が国立研究開発法人水産研究・教育機構と連携し、新たなイカ類加工原料としての利用資源として開発。



【兵庫のりを使ったポテトチップス】

地元漁業者と共創した商品の開発を志向する(株)カルビーと県漁連が連携し、兵庫県産のりを使用した地域限定の「味付けのり風味」を開発。関西で親しまれている味付けのりに注目し、兵庫のりの文化、歴史、味、素材をPR。

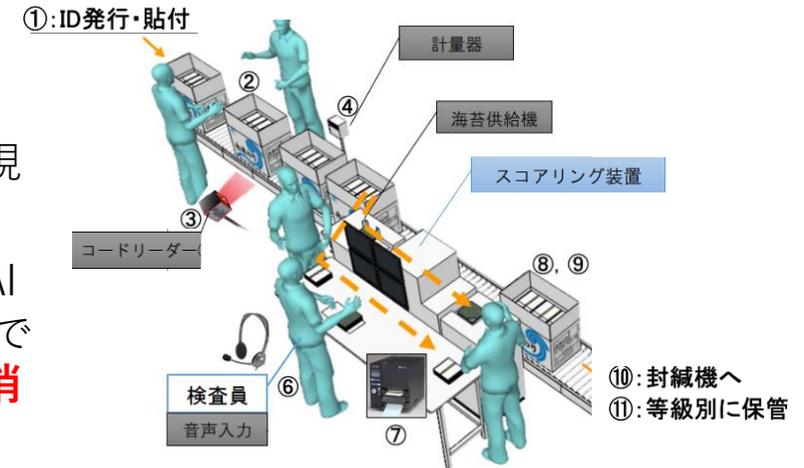
2022、2023年漁期では、兵庫県が2年連続で生産量・算出額も日本一の産地であることも周知。



III 活力ある水産業と地域づくりの推進等

3 スマート水産業の推進

- ・乾ノリの色調検査業務のDX化を目指した県漁連の取組を支援するため、県は「**兵庫のりスマート流通プロジェクト**」に参画。
- ・乾ノリの品質は、細かく等級分け(格付け)されるが、検査員が目視で行う相対評価であることや検査員の人材不足など課題が多い。
- ・現在、県漁連がグローリー(株)と共同で、最新の画像認識技術とAI技術を活用して開発した乾ノリ色調検査機の実証試験に取り組んでおり、**品質を数値化(絶対評価)することで、検査業務の効率化や消費者目線の「見える化」を推進。**



自動化後の検査ライン

4 安全安心な流通の確保

(1) 違法に採捕された水産動植物の流通防止

- ・特定水産動植物等の国内流通の適正化等に関する法律の施行により、アワビ、ナマコを採捕する漁業者や流通・販売、加工を行う事業者からの届出（令和7年4月現在採捕事業者1,484件、取扱事業者241件）を受けるとともに、制度の適正な履行に向け指導を実施。

(2) 貝毒監視体制の整備

- ・**アサリやマガキ等の貝毒蓄積状況を監視**し、毒化した貝の流通を未然に防止するとともに、県民へ正確な情報を迅速に提供。

監視実績（令和7年3月末現在）

監視対象種	監視地点	監視回数	検体数
アサリ、マガキ、イワガキ、トリガイ、アカガイ、ナミガイ、スダレガイ	34カ所	24回	185検体

III 活力ある水産業と地域づくりの推進等

5 内水面における水産資源の維持と地域活性化の推進

- 平成27年度に策定した県計画「**ひょうご内水面漁業振興方策**」を令和**6年12月に改正**し、状況に応じた増殖手法の確立や河川環境の保全を推進。

(1) 内水面水産資源の増殖

- 近年、河川環境の悪化などにより渓流魚、特にアユの生息数が減少。
- このため、産卵親魚を放流する内水面漁協の取組を支援し、翌年の稚アユの天然遡上を下支えすることでアユ資源を維持・増大。



アユ産卵親魚の放流状況

(2) 内水面生態系の維持保全

- 河川の清掃や魚介類の移動を阻害する魚道内の堆積土砂の除去、外来魚やカワウの効率的な駆除・防除対策など、内水面漁業者等が行う河川の生態系を保全する活動やそれらを通じた環境学習の取組を支援。

令和6年度の活動状況

活動組織			主な活動
関係市町	活動組織数	構成員数	
加古川市 他16市町	10	871人	河川清掃、環境学習など

【「水辺の小わざ魚道」の整備】

但馬地域の河川では、土地改良センターと連携して、自然の石組を模倣した簡易で効果的な「水辺の小わざ魚道」の整備し、堰や落差などの遡上を促すことで、河川生態系の保全・回復に努めている。

岸田川、矢田川、竹野川で地域住民・漁協等関係者・地元の児童・生徒が参加しての魚道づくりを体験整備。



水辺の小わざ魚道（岸田川・既設魚道に併設）

IV 漁港の整備・保全

1 漁港・海岸の概況

- ・ 漁業活動の拠点となる**漁港は県下に53漁港**あり、津波等の災害から地域を守る防災施設としても重要な役割を担っている。

漁港の状況（令和7年4月1日現在）

漁港の種類	管理者別		地区別			計
	県管理	市町管理	摂津・播磨	但馬	淡路	
第1種	2	34	10	12	14	36
第2種	10	4	5	1	8	14
第3種	2	1	1	2	—	3
計	14	39	16	15	22	53

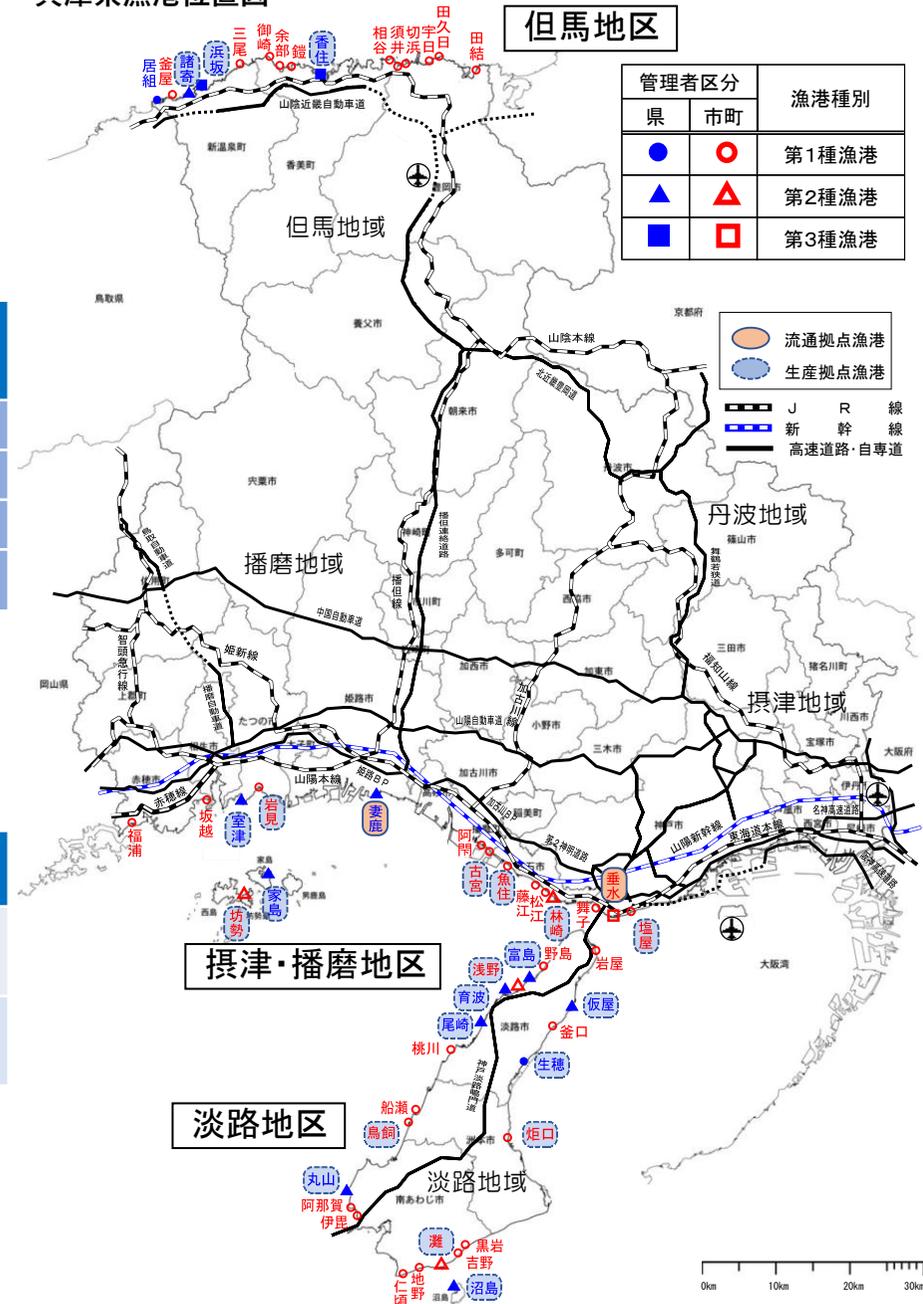
- 第1種漁港：利用の範囲が地元の漁業を主とするもの
- 第2種漁港：利用の範囲が第1種漁港よりも広く、第3種漁港に属さないもの
- 第3種漁港：利用の範囲が全国的なもの

海岸の状況（令和6年度海岸統計）

区分	県全体	漁港海岸	比率(%)
海岸線延長 (km)	856.2	108.3	12.6
うち海岸保全区域延長	435.0	48.1	11.1

漁港海岸108.3kmのうち48.1kmは、高潮や浸食等による被害から海岸を防護するため、海岸保全区域に指定されている

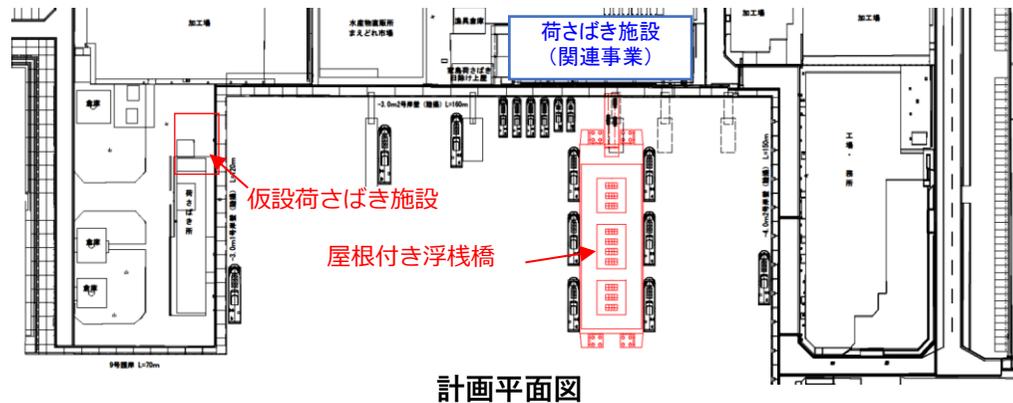
兵庫県漁港位置図



IV 漁港の整備・保全

2 漁業生産活動の効率化、省力化を図るための施設整備

- 陸揚作業の効率化・軽労化を図る浮棧橋や港内の静穏度向上を図る防波堤など、漁業活動の環境改善を図るための施設整備を推進。
- 播磨地域の流通拠点漁港である**妻鹿漁港**（姫路市）において、**衛生管理対策及び陸揚作業の軽労化を目指した屋根付き浮棧橋等の整備**を実施。（令和9年度完成予定）



屋根付き浮棧橋（整備イメージ）

3 漁港施設の保全対策の推進

- 既存施設の老朽化に伴う機能低下を防ぐため、漁港施設の保全対策を計画的に推進。
- 育波漁港**（淡路市）では、水産物の陸揚げ等に必要な物揚場に段差やひび割れが発生、通行及び運搬機能が低下しているため、令和5年度から**物揚場の補修工事**を実施。



育波漁港物揚場 整備前



育波漁港物揚場 整備後

主な老朽化対策箇所

令和6年度実施箇所		令和7年度実施予定箇所	
浜坂漁港	岸壁防食工	室津漁港	物揚場エプロン補修
育波漁港	物揚場エプロン補修	香住漁港	下浜地区浚渫工
その他	香住漁港 尾崎漁港他	その他	家島漁港 沼島漁港

IV 漁港の整備・保全

4 防災・減災対策の推進

(1) 沼島漁港（南あわじ市） 津波対策

- ・ **南海トラフ巨大地震による津波**に対しては、県下で津波到達時間が44分と最も早い**沼島漁港**において、津波による浸水被害の軽減を図るため、漁港の入り口に**「港口水門」を新設**するとともに、防護ラインを形成する**防波堤の嵩上げ**等を実施中。
- ・ 本港地区の港口水門では、水門躯体は概成させ、防波堤のかさ上げ等も令和6年度に完了。令和7年度は水門両脇の防波堤の復旧工事等を実施し、同地区の工事が完成予定。
- ・ 泊地区の港口水門は、令和4年4月から工事に着手し、現在仮栈橋を整備中。
- ・ 本港地区と泊地区を結ぶ防潮堤未整備箇所は、令和6年度より防潮堤と陸閘の整備工事に着手。



沼島漁港 津波対策概況



本港地区港口水門 施工状況



泊地区港口水門 仮栈橋設置状況

IV 漁港の整備・保全

(2) 香住漁港（香美町）岸壁の耐震化

- ・ **香住漁港**は但馬地域の「**生産拠点漁港**」であり、かつ県地域防災計画の「**海上からのアクセスポイント**」に位置づけられている。大規模災害発生時発生時には早期の漁船受け入れや漁獲物の陸揚げ、緊急物資の陸揚げ等の機能を担う。
- ・ このため同漁港では、令和4年度から**岸壁の耐震化**を実施、令和7年度完了予定。



施工中の状況



香住漁港 事業実施個所

(3) 浜坂漁港海岸（新温泉町）保全対策

- ・ 県民の憩いの場である砂浜（浜坂県民サンビーチ）を保全するとともに、浸水被害を防止するため**離岸堤の機能保全工事**を実施。

【気候変動に対応した海岸保全基本計画の改定】

近年の気候変動による影響を考慮した対策へ転換すべく国の基本方針が変更されたことから、大阪湾沿岸・但馬沿岸・播磨沿岸・淡路沿岸の計4沿岸の計画を改定。

令和6年10月に学識経験者や海岸利用者の意見を聴くための委員会を設置し、検討中。今年度に計3回程度委員会を開催し、令和7年度末に改定し公表の予定。



兵庫県海岸保全基本計画変更検討委員会

V 漁場の整備

1 漁場整備の推進

(1) 沿岸漁場の整備

- ・ 漁業生産力向上のため、マダイ、スズキ、アジ等を集める**魚礁の設置**や、カレイ類、メバル、カサゴ等の産卵親魚の保護や稚魚の育成を図る**増殖場を造成**。

沿岸漁場整備事業の実績・計画 (R6,7)

事業種目	海域	R6実績(地区名)	R7計画(地区名)
増殖場 (県営)	瀬戸内海	加島南、沼島第6、湊、一宮、五色、由良第2	加島南、沼島第7、洲本、五色
	日本海	三尾	三尾
大型魚礁 (県営)	瀬戸内海	—	北淡
	日本海	釜屋沖	釜屋沖
並型魚礁 (市町営[補助])	瀬戸内海	—	姫路市
	日本海	—	—

令和6年度の沿岸漁場整備実施箇所



【第2の鹿ノ瀬構想】

平成18年度から、播磨灘中西部で天然の好漁場として知られる鹿ノ瀬に匹敵する大規模な漁場を整備中。

完成済みの地区では、漁業者の要請をもとに瀬戸内海海区漁業調整委員会が漁業法に基づく指示を行い、全ての水産動植物の採捕を禁止して産卵親魚等の保護機能を強化し、増殖効果の早期発現を図っている。



第2の鹿ノ瀬構想 全体図

【凡例】
○ 県営
△ 県営(調査)

V 漁場の整備

27

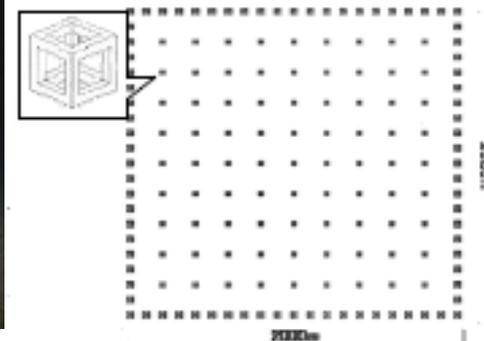
(2) 沖合漁場の整備

- 平成19年度から本県漁業者が操業する日本海西部海域では、**ズワイガニ等を対象とした国営増殖場を整備中**。本県は整備費用の一部を負担。
- 現在、全体計画32箇所のうち28箇所を整備済。整備済の区域を漁業者が保護区として操業を自粛した結果、**増殖場内で稚ガニが多く生息**するなど、**ズワイガニ資源の保護効果を確認**。



増殖場内のズワイガニ

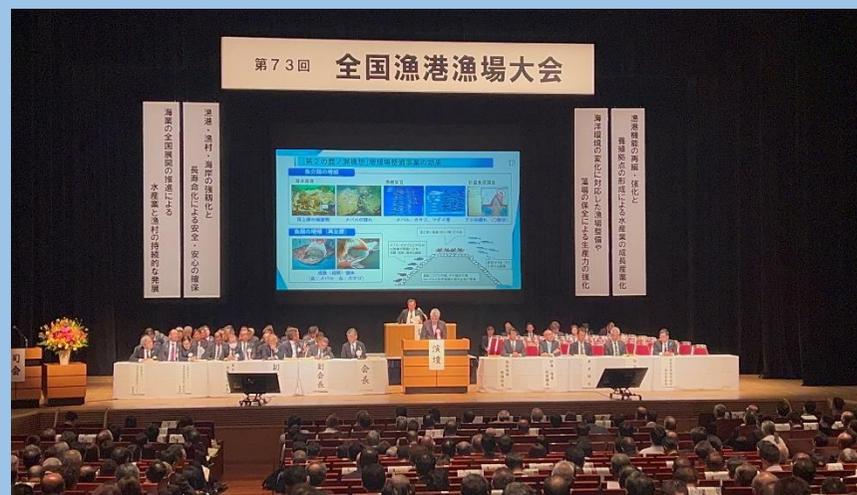
【保護育成礁のイメージ】
基本的に2,000m×2,000mの区画内に複数のブロックを設置し1群を構成。



【全国漁港漁場大会での事例発表】

令和6年10月24日、公益社団法人 全国漁港漁場協会の主催により開催された全国漁港漁場大会で、兵庫県水産漁港課が「兵庫県の漁場整備 - 第2の鹿ノ瀬構想と豊かな海の実現に向けた取組」と題して事例発表。

当日は、全国から参加した約1,300人の関係者に対し、第2の鹿ノ瀬構想をはじめとした、漁場整備を通じた本県の豊かな海の実現に向けた先進的な取組を紹介。



大会での事例発表の様子（東京都）

VI 海業の推進

1 「海業」の推進による漁村地域の活性化

- 人口減少や高齢化が進行する漁村地域の活性化のため、漁港施設を活用し、**海や漁村が有する価値や魅力を活かした「海業」を推進**。国のモデル地区に指定された**新温泉町の居組漁港、南あわじ市の丸山漁港において、事業計画の策定など各地域の取組を支援**。今後、県は漁港管理者として「活用推進計画」を策定し、事業実施者を公募。

【丸山漁港でのイベント開催】

南あわじ漁業協同組合が中心になり、令和6年9月15日～10月6日の期間限定で「まるやま水族館」を開催。約13,000人の入館者を集め好評を得た。

今後、この実績や知見を活かした取組を実施。



水族館イベントのポスター



タッチングプールの様子

令和7年度は水産物提供施設設置に向けたボーリング調査等を実施予定。

【居組漁港でのウニ養殖試験】

令和6年度から浜坂漁業協同組合が中間育成施設を活用したウニの陸上養殖試験を開始。今後は肥育技術の確立や事業化に向けた検討を予定。

居組海業協議会では老朽化した海の家建て替えと連携したマリンアクティビティの導入も検討中。



陸上養殖したウニの成熟状況



居組海業協議会での検討状況

令和7年度はウニの陸上養殖本格実施のため水質調査等を実施予定。